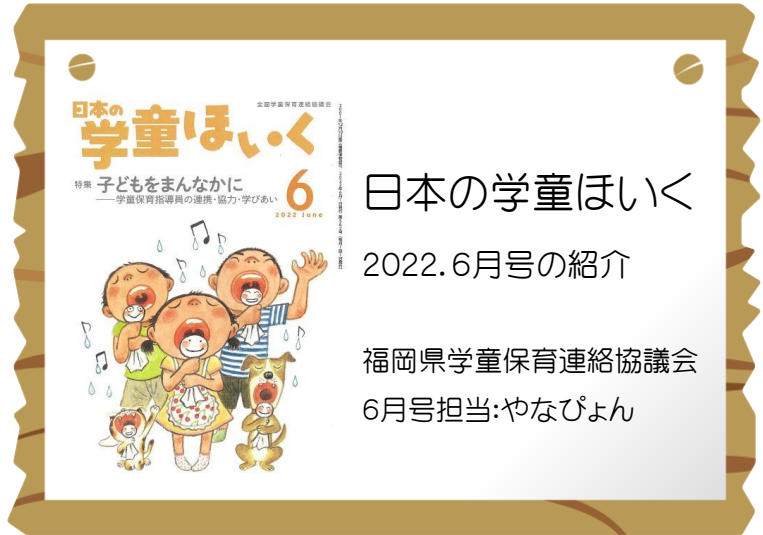


ひらいて



みちゃい



日本の学童ほいく

2022.6月号の紹介

福岡県学童保育連絡協議会

6月号担当:やなぴよん

子どもをまんやかに 学童保育指導員の連携・協力・学びあい

- P10 指導員 安心して過ごせる生活の場を支えるために
- P14 指導員 子どもの生活と成長を支える指導員の連携・協力
- P18 保護者 子どもたちの生活を守る指導員の連携・協力に思うこと
- P21 青森中央短期大学 幼児保育学科 松浦 淳
大人が互いのよさを知り、高めあう学童保育
～指導員同士の連携と協力の意味と方法
- P27 編集部 子どもたちの生活を守る指導員の連携・協力・学びあいを

今月の特集

…そうそう！と共感でき、改めて支援員の連携・協力の大切さを確認できる内容です



連続エッセー 心の散歩道 vol.86

野営の火おこし 松崎運之助

My Favorite

今回は二人の息子さんが小学生だった頃、よく出かけた野営地でのできごと。雨でマッチがしけて使えなくなったとき、お兄ちゃんが「いい方法がある！」とリュックサックの中から手にしたのは、観察用の虫メガネ。お兄ちゃんの知恵で無事に火がついたこと、その知恵は学童での体験から得たこと。貴重な体験と知恵を授けた「学童の先生」と「子どもたちは炎をうっとりとながめながら…」の結びの文章に、私もうっとりしました(*^_^*)

《講座》保育とは、未来を共に語り創ること

第3回 子どもは変化をもたらす存在 世界に広がる学校革新の波
福島大学名誉教授 大宮勇雄 先生

前号では、保育や教育というものは「未来に向けて子どもを準備する場」というより「未来を子どもと共に創る場」ととらえるべきではないかと述べられていましたが、その思いを後押ししてくれたのが『未来の可能性を学ぶ教育 Learning Futures』というイギリスの教育学者ケリー・ファーツァーが書いた本だとか。

そして、学校革新運動として世界に大きな影響をもたらしているものの一つが、インドのリバーサイド・スクールの実践。「地域を変える試みへの参加は、子どもたちのなかに自分のパワーへの確信をもたらします」とあります。

壮大な内容のような、でも身近な実践の中にあるもの。何度も読み返して咀嚼したい内容です。



ほかにも

- P35 たのしいな 大人気♡パンナコッタ…今からの季節のおやつにピッタリ
- P54 実践ノート 学童保育を休みがちな子どもとの関わりを考える③
- P57 学童保育に関わる用語・仕組みの解説…学童初心者の方へ、一読のお勧め
- P60 出会い 集い 父母会 子どもたちの笑顔のために、共にできること

などなど、6月号も 見どころ満載です(^o^)/



「日本の学童ほいく」誌は、日本の選抜された保護者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成された唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌を、たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思い、見どころ「ひらいてみちゃりい」を配信しています。

毎月担当を代えて、それぞれの視点から見どころを紹介しています。

是非、定期購読を！申し込みをお待ちしております！

申し込み先:福岡県学童保育連絡協議会
FAX(093-662-6006)